

BULK CHEMICALS

株式会社バルクケミカルズ・ジャパン

2021年8月11日作成

製品データ情報

バルククリーナー BK859TPF

(スプレー／浸漬用)

A. 特長

バルククリーナーBK859TPFは、洗浄性がよい液体タイプのアルカリ性クリーナーです。鋼材、亜鉛、アルミの表面洗浄に適しています。また発泡性を低減した製品ですので、浸漬だけでなくスプレー処理ラインに適用可能です。ケイ酸塩を含まず、生物分解性のノニルフェノール・フリーの界面活性剤を採用しています。

B. 使用方法概要

1. 薬品濃度

処理液 100 ㍺につき、BK859TPF を 1.0 ～ 6.0 ㍺を攪拌しながら加えます。

2. コントロールポイント

バルククリーナー滴定： 1.9 ～ 11.3 ml

温度： 38 ～ 71 °C

スプレー時間： 30 秒 ～ 1 分

浸漬時間： 2 ～ 5 分

ノズル圧： 1.1 ～ 1.4 kgf/cm² (0.10 ～ 0.14MPa)

C. 処理液管理

BK859TPF 処理液は、当社のバルククリーナー滴定を用いて管理してください。

バルククリーナー滴定方法

- 1) ピペットで処理浴サンプル 10ml をビーカーに採ります。
- 2) 100ml の蒸留水を加え、「フェノールフタレイン」(指示薬 3) を 4～6 滴加えます。
- 3) 「0.1N 塩酸」(試薬 20) を自動ビューレットのゼロの位置まで注ぎます。
- 4) サンプルを攪拌しながら、ピンク色が消えるまで「0.1N 塩酸」(試薬 20) をゆっくりに加えます。
- 5) この時の「0.1N 塩酸」(試薬 20) の使用量 (ml) を記録します。

補 充： 滴定値を 1ml 上昇させるには、処理液 100 ㍺につき BK859TPF を 400ml 加えます。あらかじめ設定した濃度での脱脂性能を保つには、設定値から±0.2ml 程度の範囲内で滴定値を

BULK CHEMICALS

株式会社バルクケミカルズ・ジャパン

管理することをお勧めします。

注) 処理槽の一部を廃棄または漏洩した場合には、初期設定と同じ割合の薬品と希釈水を加えて、元の容量へ戻してください。

D. 運用上の注意点

- ここに説明している初期の管理ポイントおよび補給用データは、ほとんどの設備に対応する標準的なものです。しかしながら、特別な条件によって処理する必要がある場合には、これとは異なる方法の適用も考えられます。その際は、当社技術スタッフにご相談ください。
- 処理材が過度に汚れており脱脂性能の強化が必要な場合は、バルクソル（クリーナー添加剤）のご使用をお勧めします。

E. 設備に関する注意点

BK859TPF が使用される設備（処理槽・シャワーブース等）には、軟鋼製をご使用ください。

F. 保管する際の注意点

本製品は清潔で乾燥した場所に保管し凍結を防いでください。

製造年月日から 1 年以内にご使用ください。

バルククリーン（Bulk Kleen®）とバルクソル（Bulk Sol™）は米国バルクケミカルズ社の登録商標です。

（オリジナルバージョン#1：2021年8月11日作成）